

世界 LNG 動向 2022 年 5 月

橋本裕*

はじめに

日本の LNG 輸入量は、2022 年 1-4 月の期間に前年同期比 8%減少の 2597 万トンとなった。特に米国産 LNG の輸入が前年同期比ほぼ半減の 160 万トンとなった。中国の LNG 輸入量は同じ 4 ヶ月間に前年同期比 17%減少の 2159 万トンとなった。中国も米国産 LNG 輸入が前年同期比 70%以上、160 万トン減少し、60 万トン程度となった。この 4 ヶ月間では、日本が中国を抜き返して再び世界最大の LNG 輸入国となった。日本、さらにそれ以上に中国引き取り減少分の多くが事実上、欧州にシフトした。

米国では Venture Global LNG が、2022 年 5 月 25 日、自社 2 件目のプロジェクト Plaquemines LNG 設備第 1 段階（年間 1333 万トン分）の最終投資決定（FID）を発表した。同社は、年間 2000 万トン分の全プロジェクトの 80%について、20 年間の販売契約（SPAs）を確保しているとしている。

本件を筆頭に、米国の新規・拡張 LNG 輸出プロジェクトから、長期 LNG 販売契約の締結が相次いでいる。欧州では、新たに LNG 輸入を計画するドイツ等での受入基地プロジェクトに関して、FSRU 調達などの進展が発表された。既に 2021 年には、長期 LNG 販売契約は増加しており、2022 年はこれを上回る勢いにある。中国買主が引き続き市場を牽引している。

欧州委員会（EC）は、既存・新規ガス供給者からの追加ガス供給について、メタン漏洩対策、ベンディング・フレアリング対策の諸措置を織り込み、グローバル市場の流動性を向上し、気象変動上の優位性を確保することを目指す、と表明した。特に、メタン排出削減のため、供給者側と協力すると明示している。

この 2 ヶ月間は、欧州ガスハブ価格の内、TTF（欧州大陸側ガス価格の代表的指標）に対する英 NBP の割安幅が、100 万 Btu 当たりの米ドル換算で、3 月末の 2 ドル未満から、5 月上旬には一時 14.5 ドルに拡大した。3 月以降、欧州大陸側の LNG 輸入基地各所で荷揚を待つ LNG 輸送船舶が増加する中で、英国では受入堅調な LNG 含めて、供給に若干の余裕が生じたこと、さらに、英国から欧州大陸側へとガスを送出するパイプラインのキャパシティにも上限があることにより生じた現象である。

[アジア太平洋]

アジア船主協会（ASA）は、2022 年 5 月 19 日、スエズ運河の通航料金およびサーチャージ

* 化石エネルギー・国際協力ユニット ガスグループ

ジの値上げについて懸念を表明した。パナマ運河の新通航料金体系案に関しても懸念を表明した。

JERA は、2022 年 5 月 12 日、2021 年度は国内向けに日本全体の 40%に当たる 3000 万トンの調達を行い、過去最大 450 万トンの LNG スポット調達を JERA Global Markets Pte. Ltd を通じて実施した、と述べた。

九州電力は、2022 年 5 月 11 日、新規需要向けの LNG 供給を行う専業の子会社「Q ユナイテッドエナジーサプライ&トレーディング株式会社 (QUEST)」を設立したことを発表した。

千代田化工建設株式会社、株式会社 JERA、公益財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE) は、2022 年 5 月 13 日、「天然ガス火力発電排ガスからの大規模 CO₂ 分離・回収技術開発・実証」を開始することを発表した。

株式会社商船三井 (MOL) は、2022 年 05 月 09 日、日本シップヤード株式会社および株式会社新来島どっくとの間で、LNG を主燃料とする 7,000 台積み自動車船 4 隻の建造について合意したことを発表した。商船三井が建造を決定している LNG 燃料自動車船は計 8 隻となる。

TotalEnergies は、2022 年 5 月 24 日、韓国ハンファエナジー社 (= Hanwha Energy Corporation) との間で、LNG 年間 600,000 トンを 2024 年から 15 年間、韓国統営基地持ち届けで供給する売買契約 (SPA) を発表した。

シンガポール規制機関 (EMA) は、2022 年 5 月 19 日、長期 LNG 輸入企業追加 2 社を指名するため、提案募集 (RFP) を発行したことを発表した。現在の長期 LNG 輸入企業 4 社に追加となる。提出期限は 2022 年 7 月 8 日となる。

サウディアラビア Saudi Aramco (Saudi Arabian Oil Company) は、タイ PTT と、原油調達、精製・石化製品、LNG マーケティングでの協力を強化するため、2022 年 5 月 11 日、覚書 (MOU) を締結したことを発表した。

ベトナム計画・投資省は、2022 年 5 月 12 日、AES、 PetroVietnam Gas JSC (PV Gas) が、 Son My LNG 基地の投資登録証書を受けたことを発表した。同基地は 2026 年稼働開始を見込んでいる。

諸報道によると、フィリピンで計画されている LNG 基地中 1 件は 2020 年 8 月輸入を開始する可能性がある、とエネルギー省 (DOE) は述べた。

フィリピンの First Gen Corporation (FGen) は、2022 年 5 月 19 日、自社による LNG 供給者を求める取り組みが、前向きな反応を得ている、と述べた。同社の LNG 基地は 2022 年第 4 四半期までに利用できるようになる見込み。

中国の国家 局によると、2022 年 1-4 月の同国天然ガス生産は 747 億 m³ と前年同期比 6.2%増となった。国家管网集 (国家石油天然气管网集 有限公司 = PipeChina) の 2022 年 5 月 22 日の発表によると、同社は、稼働中の幹線天然ガスパイプライン 49,000 km に、LNG 受入基地 14 件、地下ガス貯蔵設備 14 件を接続している。

日本郵船 (NYK) は、2022 年 5 月 2 日、CNOOC Gas and Power Singapore Trading & Marketing Pte. Ltd. と、LNG 運搬船 6 隻の長期定期備船契約を 4 月 28 日に締結、同時に 沪中造船 (集) 有限公司 (Hudong-Zhonghua) と本船の造船契約を締結したことを発表した。NYK は、中国の海運会社 招商局能源運 股份有限公司 (China Merchants Energy Shipping Co., Ltd (CMES)) と共同保有・管理する予定。

中国海油 (CNOOC) は、2022 年 5 月 21 日、江省 城基地に各 270,000 m³ 容量の世界最大の LNG 貯蔵タンク 6 基の屋根蓋揚げを完了したことを発表した。

Höegh LNG は、2022 年 5 月 25 日、業績報告の際、第 1 四半期終了後に、自社が Höegh Giant についてインドでの FSRU 契約を解除したことを報告した。

Excelerate Energy は、2022 年第 1 四半期業績報告の際、バングラデシュ Payra LNG プロジェクトが、同年 5 月同国政府より原則承認された、と述べた。Moheshkhali LNG 拡張プロジェクトも、2022 年 2 月同国政府より原則承認された、と述べた。

豪 Woodside は、2022 年 5 月 19 日、年次株主総会で、BHP Group Limited の石油類ビジネスとの合併案を承認したことを発表した。投票参加株主の 98.66% が合併に賛成した。6 月 1 日で合併が完了した。同社は、5 月 20 日、年次株主総会での承認を受け、Woodside Petroleum Ltd から Woodside Energy Group Ltd への会社名称変更を、豪連邦証券・投資委員会 (ASIC) に登録したことを発表した。

Woodside は、2022 年 5 月 5 日、パース東部地域自治体評議会 (EMRC) と Woodside が、用地賃貸借オプション案に関する基本条件に合意したことを発表した。このオプションは、Woodside が EMRC の Red Hill 廃棄物管理・エコパークを、カーボン回収・活用 (CCU) パイロット設備に利用すること、EMRC により Woodside に埋立地ガスを供給することを内容としている。

Shell Australia は、2022 年 5 月 30 日、自社・合併事業パートナー SGH Energy が、西豪州沖 Crux 天然ガス田開発に関して、最終投資決定 (FID) を行ったことを発表した。同ガス田は、既存 Prelude 浮体 LNG (FLNG) 設備向けに天然ガス追加供給を行うこととなる。ガス生産開始は 2027 年を見込んでいる。

[北米]

ヘンリーハブ先物翌月渡し終値は、2022 年 4 月 4 日 6.032 米ドル以降、2008 年 12 月 4 日の 6.017 米ドルを上回り (2008 年金融危機後、シェール革命後の最高) となり、5 月 5 日 8.783 米ドル、同 25 日 8.971 米ドルに至った。

米 EIA (連邦エネルギー情報局) 短期エネルギー見通し 2022 年 5 月版によると、米国 LNG 輸出は、2021 年平均日量 120 億立方フィート (合計 9114 万トン)、前年比 23% 増となる。追加の新規輸出設備が稼働開始を見込まれていないことから、LNG 輸出増加率は 2023 年 5% に下がり、LNG 輸出量は平均日量 126 億立方フィート (合計 9570 万トン) と見込まれている。

Cheniere Energy, Inc. は、2021 年第 1 四半期 3.93 億米ドルの純利益に対して、2022 年第 1 四半期は 8.65 億米ドルの純損失となったことを報告した。デリバティブ損失は、自社長期 IPM（統合型生産マーケティング方式）契約について、国際 LNG 価格に連動したコモディティデリバティブ利用に関わるものとした。

Cheniere Energy, Inc. は、2022 年 5 月 4 日、子会社 Corpus Christi Liquefaction Stage III, LLC が、長期統合型生産マーケティング（IPM）ガス供給契約を、ARC Resources U.S. Corp. との間で締結したことを発表した。このガス供給に伴う LNG は、年間 85 万トン。

Cheniere Energy, Inc. は、2022 年 5 月 25 日、Cheniere Marketing, LLC が、韓国最大の製鉄会社・同国最初の民間 LNG 基地所有者の子会社 POSCO International Corporation と LNG 売買契約（SPA）を締結したことを発表した。POSCO International は Cheniere Marketing から FOB 条件で、2026 年末から 20 年間、年間 40 万トンの LNG を購入することに合意した。

Sempra Infrastructure は、2022 年 5 月 23 日、TotalEnergies、三井物産、三菱商事との間で、ルイジアナ州南西部での Hackberry Carbon Sequestration（HCS）プロジェクト開発に関して、参加契約を締結したことを発表した。本参加契約は、Cameron LNG 第 1 段階および計画中の第 2 段階プロジェクトを併せて、HCS プロジェクトの二酸化炭素（CO₂）回収・固定の中核源候補となることを想定している。

Sempra Infrastructure、ポーランド PGNiG は、2022 年 5 月 16 日、Sempra Infrastructure の北米 LNG プロジェクトから合計年間 300 万トン、ルイジアナ州で開発中の Cameron LNG 第 2 段階プロジェクトから 200 万トン、テキサス州で開発中の Port Arthur LNG プロジェクトから 100 万トンの FOB 条件での引き渡し売買で、基本合意（HOA）を締結したことを発表した。

Sempra Infrastructure、ドイツ RWE Supply & Trading は、2022 年 5 月 25 日、米テキサス州ジェファーソン郡で開発中の Port Arthur LNG 第 1 段階プロジェクトから、長期・FOB 条件で供給する LNG 年間 225 万トンについて、基本合意（HOA）を締結したことを発表した。

米 Freeport LNG Development, L.P. は、2022 年 5 月 16 日、FERC（連邦エネルギー規制委員会）に、第 4 系列プロジェクトの建設完了・業務開始期限を 2028 年 8 月 1 日まで延長する申請を行った。

Blackstone は、2022 年 5 月 20 日、Blackstone Credit が Elba Island LNG 設備の合弁事業体 Elba Liquefaction Company（ELC）の EIG が持っていた 49%所有権を買い取ったことを発表した。Kinder Morgan は、オペレーター、51%所有権を維持する。

NextDecade Corporation は、2022 年 5 月 2 日、ENGIE S.A. と NextDecade のテキサスブラウンズヴィル Rio Grande LNG 輸出プロジェクト（RGLNG）からの LNG 供給について、15 年間の売買契約（SPA）を締結したことを発表した。ENGIE は、年間 175 万トンの LNG を FOB 条件で購入する。この LNG 供給は、RGLNG の 5 系列中、最初の 2 本

からとなる。第 1 系列は、早ければ 2026 年稼働開始見込みとなる。

Venture Global LNG は、2022 年 5 月 10 日、ExxonMobil LNG Asia Pacific との間で、Plaquemines LNG ・ CP2 LNG 両設備から、各年間 100 万トンずつ、2 本の新規長期売買契約 (SPAs) を発表した。CP2 について 2 件目の供給契約で、同設備は 2023 年建設開始を見込んでいる。両設備とも Calcasieu Pass で稼働中の同設計を複製する。

Venture Global LNG、マレーシア PETRONAS は、2022 年 5 月 11 日、前者の Plaquemines LNG 設備より、LNG 年間 100 万トンの購入に関しての新規 20 年間売買契約 (SPA) 締結を発表した。Venture Global は同設備年間 2000 万トン公称容量中、これまでに 1600 万トンについて 20 年間の販売を発表した、と述べた。

Venture Global LNG は、2022 年 5 月 25 日、Plaquemines LNG 設備第 1 段階 (年間 1333 万トン) ・これに伴う Gator Express パイプラインの最終投資決定 (FID) ・132 億米ドルのプロジェクトファイナンスを発表した。同社は年間 2000 万トン分の全プロジェクトの 80% について、20 年間の販売契約 (SPAs) を確保している。Plaquemines LNG 第 1 段階買主には、PGNiG、Sinopec (中国石化)、CNOOC (中国海油)、Shell、EDF が含まれる。これまでに発表された第 2 段階の買主には、ExxonMobil、PETRONAS、New Fortress Energy が含まれる。

Enbridge は、2022 年 5 月 26 日、Venture Global のルイジアナ州 Plaquemines LNG 設備向けに日量 15 億立方フィートの天然ガスを供給する Venice Extension プロジェクト、Gator Express Meter プロジェクトが進展していることを発表した。

Energy Transfer LP、Gunvor Group Ltd は、2022 年 5 月 2 日、Gunvor Singapore Pte Ltd が、Energy Transfer LNG Export, LLC との間で、Lake Charles LNG プロジェクト関連での LNG 売買契約を締結したことを発表した。Energy Transfer LNG は、Gunvor に、年間 200 万トンの LNG を供給することとなる。Energy Transfer LP は、2022 年 5 月 3 日、SK Gas Trading LLC との間で、Lake Charles LNG 輸出設備からの LNG 年間 40 万トンの供給に関して、長期売買契約 (SPA) 締結を発表した。

Technip Energies は、2022 年 5 月 25 日、自社と Samsung Engineering が米テキサス州ブラウズヴィルの Texas LNG プロジェクトのプレ FID (最終投資決定) エンジニアリング契約を受注したことを発表した。計画されている年間 400 万トン LNG 輸出設備用地は、ブラウズヴィル港湾の大水深の航路、メキシコ湾近くに位置する。

Chevron の 2022 年 5 月 25 日の年次株主総会で、98% の賛成により、自社のメタン排出情報公開の信頼性を分析する報告書作成を取締役会が監督することが決まった。同社は、5 月 4 日、自社のメタン排出検知、削減について、地表からおよび上空から、複数のアプローチで向上に取り組んでいることを発表した。

米 Coterra Energy、Devon Energy は、2022 年 5 月 3 日、LNG 関連の新たな事業機会を検討していることを明らかにした。Coterra は、Cove Point を通じて長期 LNG 取引に基づき、日量 3.50 億立方フィートのガスを動かしている。Devon は、LNG のダイナミッ

クスからして、より長期的に、さらにより価格を実現できる機会が生じる筈、と述べた。米天然ガス生産企業 Comstock Resources, Inc. は、2022 年第 1 四半期業績報告の中で、LNG 設備の所有権は自社が検討するロジカルな次のステップである、と述べた。同社は現在、自社天然ガス生産の 14%を、LNG 企業に販売している。Chesapeake Energy は、2022 年 5 月 4 日、同年第 1 四半期報告の中で、LNG 輸出市場への参入に関して、数件の話し合いに関与していると述べた。

米国ガス貯蔵企業として非上場最大の Enstor Gas は、2022 年 5 月 11 日、自社およびその天然ガス中流資産全て、J.P. Morgan Investment Management Inc. の助言を受ける投資機関 Infrastructure Investments Fund (IIF) により、ArcLight Capital Partners, LLC 子会社から買収されたことを発表した。Enstor は、アラバマ州、ミシシッピ州、テキサス州、ニューメキシコ州の天然ガス貯蔵諸設備の運営を継続する。

株式会社 JERA は、2022 年 5 月 13 日、米国マサチューセッツ州およびメイン州の火力発電事業に参画することとし、Stonepeak から事業権益の 100%を取得する権益売買契約を締結したことを発表した。マサチューセッツ州のキャナル火力発電所、メイン州のバックスポーツ火力発電所の 2 つで、合計出力は約 163 万 kW である。

Crowley は、2022 年 5 月 24 日、プエルトリコ南部 Peñuelas で LNG 積込基地開業を発表した。同基地は年間 9400 万ガロン (160 000 トン) 以上を出荷できる。10,000 ガロン ISO コンテナに積み陸上輸送する。

【中東】

アブダビ国営 ADNOC (Abu Dhabi National Oil Company) は、2022 年 5 月 12 日、McDermott International をフジヤイラでの計画 LNG 設備設計に指名したことを発表した。ADNOC は、同プロジェクトで自社 LNG 生産容量が年間 960 万トン拡大する見込み、と述べた。EPC 契約決定は 2023 年の見込み。

【アフリカ】

アルジェリア SONATRACH、Eni は、2022 年 5 月 26 日、アルジェリアでのガス田群開発、グリーン水素を通じての脱炭素化を促進する覚書 (MoU) を締結したことを発表した。SONATRACH が既に発見した特定のガス田群の開発加速に向け、両社は検討する。対象となる地域からのガス生産量は、年間 30 億 m³相当で、Transmed パイプラインを通じてアルジェリアからイタリアへの輸出容量を増加することに一役を買う。

Kosmos Energy は、2022 年 5 月 9 日、同年第 1 四半期業績報告の中で、モーリタニア・セネガルの Greater Tortue Ahmeyim LNG プロジェクトは同四半期末時点で 75%完成となった、と述べた。

Atlantic Gulf & Pacific International Holding (AG&P) は、2022 年 5 月 9 日、子会社 GAS Entec がその固有特許技術 RegasTainer® を用いて、トルコ Karpowership・商船三

井 (MOL) 合弁事業 KARMOL 向けに、125,000 m³ LNG 輸送船舶 1 隻を、モジュラー型浮体貯蔵・気化設備 (M-FSRU) に改造完了したことを発表した。本 M-FSRU は、Karpowership のダカール港の 236 MW 浮体発電設備 Karadeniz Powership Aysegul Sultan 向けにガスを供給する。この既存浮体発電設備は従来重油焚きでセネガル電力需要の 15% に対応していた。

[欧州・ロシア]

欧州委員会 (EC) は、2022 年 5 月 18 日、REPowerEU 計画の説明を行った。対策としては、EU 法、拘束力のない仕組、EU 27 加盟諸国への提言が含まれている。既存の共通の利益のためのプロジェクト (PCI) リストを補完しロシア産ガス輸入の将来の喪失を完全に相殺するためガス、LNG プロジェクトへの 100 億ユーロなど、化石燃料インフラストラクチャーへの投資は必要であると述べている。

欧州委員会 (EC) は、2022 年 5 月 19 日、既存・新規ガス供給者からの追加ガス供給について、メタン漏洩対策、ベンディング・フレアリング対策の的を絞った諸措置を織り込み、グローバル市場の流動性を向上し、気象変動上の優位性を確保することを目指す、と述べた。このため、EU は、メタン排出削減のため、化石燃料供給のパートナーと協力する。EU は相互に利益のある「貴方で回収 / 当方で購入」方式を構築すべく、パートナーに技術・実務支援を提供する用意があると述べている。

欧州理事会・欧州議会の連名で、2022 年 5 月 19 日、加盟諸国領域の地下ガス貯蔵が、2022/2023 年冬季前に容量の 80%以上、それ以降の冬季前は 90%以上充填すべきことで合意が成立したことを発表した。

英 Grain LNG は、2022 年 5 月 23 日、欧州最大の LNG 基地として、同年 4 月に、過去最高の日量 431 GWh (同月合計で 85 万トン) 送出を記録したことを報告した。Grain LNG は 2020 年 Qatar Terminal Limited と契約を締結後、基地を拡張している、と述べた。

英国政府は、2022 年 5 月 26 日、石油・ガス部門が稼いでいる特大利益に対する新たな 25%課金となる Energy Profits Levy を導入することを発表した。この新税で今後 1 年間に 50 億英ポンドの歳入を見込み、財務相が発表した新たな生活費支援に充てられる。この新税の下には、新たな投資控除が組み込まれ、英国内の石油・ガス投資を企業に促進する。

Shell は 2022 年第 1 四半期業績報告の中で、ロシアでの炭化水素事業から段階的に撤退する意図を発表している、と述べた。

英独立エネルギー規制機関 Ofgem は、2022 年 5 月 16 日 (月)、エネルギー価格上限について、6 ヶ月毎でなく四半期毎に更新すべきか検討する公聴手続きを開始した。

bp は、2022 年 5 月 24 日、イングランド北東部ティーズサイドの自社ブルー、グリーン水素開発計画へのアブダビ ADNOC、Masdar 参加を発表した。bp はアブダビで新規ブルー水素プロジェクト検討に ADNOC と共同し、同国の低炭素水素プロジェクトの共同事業化調査を実施する。

Gasunie、Vopak は、2022 年 5 月 2 日、オランダ、ドイツの港湾を通じて北西欧州への水素の輸入を促進する基地インフラストラクチャー開発協力協定を締結したことを発表した。

Gasunie は、2022 年 5 月 10 日、2022 年第 3 四半期より 5 年間、エームスハーフェンに設置されるべく、浮体 LNG 設備 (FSRU) を賃借する契約を、New Fortress Energy (NFE) と締結したことを発表した。この FSRU により Gasunie は LNG 輸入容量を年間 80 億 m³ に拡大する。4 月末、Gasunie は、FSRU S188 をベルギー海運企業 Exmar から契約した。同設備も第 3 四半期に到着する。

オランダ GasTerra は、2022 年 5 月 30 日、Gazprom による一方的な支払い方法変更の要求に従わないことを決めたことを発表した。Gazprom は同 31 日から供給を遮断すると宣言した。この停止は、これから当該契約終了の 2022 年 10 月 1 日までに、契約されたガス 20 億 m³ が引き渡されないこととなる。

TotalEnergies は、2022 年 5 月 16 日、自社上流石油・ガス操業現場で、ドローン搭載の排出検知・測量を開始することを発表した。

GTT は、2022 年 5 月 3 日、Bureau Veritas (BV) より、新規のバラストなし LNG バンカー・供給船舶 (LNGB&FV) の「ミズナギドリ」コンセプトに関して、原則承認 (AIP) を受けたことを発表した。2021 年 7 月 8 日の中国船級協会、DNV からの AIP に関する GTT 発表に続くものである。

日本郵船 (NYK) は、2022 年 5 月 6 日、関連会社 France LNG Shipping SAS が、EDF LNG Shipping SAS と新造 LNG 船の長期定期備船契約を締結したことを発表した。

ドイツ Uniper は、2022 年 5 月 5 日、Dynagas Ltd. が管理する 2 隻の FSRUs の自国政府向け備船を促進したことを発表した。2023 年初業務開始予定で、ガス送出開始は同国政府が選定する立地点の陸上設備完成次第となる。RWE は、2022 年 5 月 5 日、Höegh LNG から 2 隻の浮体貯蔵・気化設備 (FSRU) を備船したことを発表した。LNG 調達の基本枠組はドイツ政府が担当する。

Equinor は、2022 年 5 月 4 日、第 1 四半期業績報告の中で、Hammerfest LNG 設備について 5 月 17 日稼働開始予定、と述べた。同社は 5 月 16 日、Melkøya 修繕作業は完了したものの、週末にコンプレッサー 1 基に見付かった支障のため、稼働開始は従来予定していた 5 月 17 日から 1 週間延期されたことを発表した。

Equinor は、5 月 25 日、Halten East 参加企業 Vår Energi、Spirit Energy、Petoro とともに、ノルウェー海 Åsgard ガス田近接地域開発に 90 億ノルウェークローネを投資することを決定したことを発表した。

フィンランド Gasum、ロシア Gazprom は、2022 年 5 月 21 日、Gasum 向け Gazprom からの天然ガス供給が遮断されたことを発表した。Gasum はさらに、自社はその顧客向けに、Balticconnector パイプラインを通じて他供給源より、天然ガスを供給する、と述べた。

イタリア Snam は、2022 年第 1 四半期業績報告において、Enagás と IT-SP 間の容量

年間 300 億 m³・全長 800 km 沖合パイプラインでの技術的事業化調査を行う MOU を締結したことを明らかにした。

イタリア Eni は、2022 年 5 月 17 日、予防的対策として Gazprom Bank に、2 件の K 当座預金口座（ユーロ建てとルーブル建て）を開設する手続きを開始したことを発表した。これは、ロシア連邦が設定した新たなガス代金支払いシステムに従ってなされた、両社間の既存契約（複数）を修正するための Gazprom Export による一方的な要請を受けての動きである。

イタリア Snam、Golar LNG Limited は、2022 年 5 月 18 日、Golar が既存 LNG 輸送船舶 "Golar Arctic" を、Snam がサルディニア Portovesme 港湾地域に設置する浮体貯蔵・気化設備（FSRU）として提供する契約を締結したことを発表した。

Excelerate Energy は、2022 年第 1 四半期業績報告の際、同年 1 月 Excelerate はアルバニア政府より、Vlora LNG 基地・発電プロジェクト事業化調査第 2 段階に進むことに承認を受けた、と述べた。

ギリシャ Gastrade は、Alexandroupolis FSRU（浮体貯蔵・気化設備）プロジェクトの本格着工の記念式典が開催されたことを発表した。同 FSRU は、2023 年末までに稼働開始見込みで、設計気化容量年間 55 億 m³ 中、60%が契約されており、ギリシャ国家ガス輸送網（NNGTS）に全長 28 km パイプラインで接続され、LNG 気化ガスはギリシャ、ブルガリア、地域（ルーマニア、セルビア、北マセドニア等）に輸送され、ウクライナに供給する可能性もある。Gastrade はまた、エネルギー規制機関（RAE）に、さらにもう 1 件この基地隣接でもう 1 件の FSRU を含む「Thrace INGS」プロジェクトのための新たな独立ガスシステム（INGS）ライセンスを申請した、と述べた。

ギリシャ Motor Oil は、Motor Oil Renewable Energy（MORE）がアブダビ MASDAR、Abu Dhabi National Oil Company（ADNOC）と、各々覚書（MoUs）を 2022 年 5 月 9 日に締結したことを発表した。ADNOC、MORE は Dioriga Gas の FSRU 基地プロジェクト、LNG 供給の機会を検討する。

ポーランド PGNiG は、2022 年 5 月 14 日、自社が備船した輸送船での最初の LNG カーゴ引き渡し、Venture Global LNG から引き取った最初の船積がシフノウィシチェ President Lech Kaczyński LNG 基地になされたことを発表した。PGNiG は、5 月 6 日、リトアニア Klaipėda 基地での自社最初の LNG カーゴを受け入れたことを発表した。テキサス州 Freeport からのものだった。

フィンランドの Gasgrid Finland Oy は、2022 年 5 月 20 日、自社と Excelerate Energy, Inc. が、LNG 浮体受入基地船舶 1 隻の 10 年間の賃貸借契約を締結したことを発表した。当該船舶はフィンランド南岸に設置されることとなる。当該船舶の貯蔵・供給容量は、フィンランド、エストニアのガス需要に対応できるものとなる。

ラトビアの燃料企業 AS VIRŠI-A は、2022 年 5 月 20 日、AS Skulte LNG Terminal 社と、同基地プロジェクト会社の株式 20% を買い取る契約を締結したことを発表した。

ウクライナのガス輸送網操業企業 GTSOU は、2022 年 5 月 10 日、占領地域内にある測定地点 GMS "Sokhranivka"、コンプレッサーステーション CS "Novopskov" におけるガス輸送のフォースマジュールを発表した。

韓国の造船大手 大宇造船海洋 (DSME) は、証券取引所への提出文書で、ロシア Sovcomflot との 3 船建造契約中、1 隻目の LNG 輸送船舶の契約中止を発表した。DSME は、2 隻目・3 隻目の受注は現在引き続き有効である、と述べた。この造船受注は、2020 年 10 月、耐氷級 Arc 7 LNG 輸送船舶容量各 172,410 m³ で 3 隻に関してなされた。

Equinor は、2022 年 5 月 25 日、ロシア合弁事業 4 件の参加権を Rosneft に移管し、将来のコミットメント・義務から解放されたことを発表した。Equinor は、2022 年 3 月 31 日現在で貸借対照表上、10.8 億米ドルの減損計上を行った。

[グローバル]

GIIGNL (LNG 輸入者の国際グループ) は、2022 年 5 月 5 日、年次報告書を発刊した。これによると、2021 年世界は 3.723 億トンの LNG を輸入し、2020 年 3.561 億トンに比し 4.5%増加となった。1.363 億トンがスポット、短期取引で輸入され、全体での比率は 2020 年 40%に対して 2021 年 36.6%となった。純粹スポット (取引後 3 ヶ月以内で引き渡し) は、2020 年 35% (1.25 億トン) から下がって、2021 年 31%、1.16 億トンだった。

Cedigaz は、2021 年天然ガス産業速報 "CEDIGAZ First Estimates 2022" を発行した。2021 年の世界のガス需要は 4.5%の急増で、絶対量として過去最高の 173 bcm 増加となり、2020 年の減少分を相殺して余りあった。

参考資料: 各社発表, Cedigaz News Report.

お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp